

平成22年度 帯広畜産大学 教員免許状更新講習一覧

開設者名・会場	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	認定番号
帯広畜産大学	牛の生物学的特徴と安心・安全な牛肉生産	十勝で盛んな牛肉生産をとりあげ、牛肉の美味しさと牛の生物学的特徴との関連について理解する。①わが国と北海道での牛肉生産の現状、②牛の品種と生物学的特徴、③牛肉の美味しさと牛の生物学的特徴との関連、④和牛の美味しさの理由、⑤安全・安心な牛肉生産に対する取り組みについて解説する。	日高 智(畜産生命科学研究部門 教授)	6時間	平成22年8月9日	教諭	中等学校・高等学校教諭(理科), 高等学校教諭(農業科)	6,000円	30人	平成22年5月7日 ～ 平成22年5月24日	平22-10005-62371号
帯広畜産大学	細胞と個体の成り立ち	生命を形成・維持している基本単位としての細胞にスポットを当て、その構造と機能を概説する。ヒトは60兆個の細胞からなるが、それらが寄り集まって組織・器官を作り、それぞれに分化して機能している。それらの構成成分は、タンパク質や脂質、炭水化物であるが、常に新しいものと置き換わっている。その原料としての食料が口から入り排泄されるまでの吸収と消化を含め、細胞と個体の成り立ちを概説する。主な対象は理科教諭であるが、子供たちの理科離れを防ぐために科学的素養を持ちたい小・中・高の教諭も対象とする。	小嶋 道之(食品科学研究部門 准教授)	6時間	平成22年8月10日	教諭	中学校・高等学校教諭(理科)	6,000円	60人	平成22年5月7日 ～ 平成22年5月24日	平22-10005-62372号
帯広畜産大学	実験を通して学ぶ光と空気の物理	光や電波に関わる現象を電磁波の波長を尺度にして整理し概観する。また、身近な気体としての空気の性質を概観する。とくに身のまわりの材料を用いた実験を通して、空気の実体や空に様々な色が現れる理由を確認し、また、電磁波と分子のエネルギー交換の視点から二酸化炭素などの温室効果を解説する。主な対象は理科教諭であるが、子供たちの理科離れを防ぐために科学的素養を持ちたい小・中・高の教諭も対象とする。	前多 修二(地域環境学研究部門 教授)	6時間	平成22年8月11日	教諭	中学校・高等学校教諭(理科)	6,000円	20人	平成22年5月7日 ～ 平成22年5月24日	平22-10005-62373号

開設者名・会場	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	認定番号
帯広畜産大学	十勝における環境教育：GPSを用いた地図作り	位置情報を取得するGPSは、一般の家電製品にも普及し、身近なものとなっているが、この技術を用いると昆虫や植物の分布図を作成することができ、また、周辺環境と身近な植物や昆虫との関係を知ることができる。この講習では、GPSのメカニズムの講義や操作法の実習を通して、簡単なデジタル地図上に植物や昆虫の発見位置情報を取り込み、植生図や昆虫分布図などの主題図を作成する方法を学ぶ。理科、農業科教諭以外にも、総合学習で生き物・植物調査に関心のある小・中・高の教諭も対象とする。	辻 修(地域環境学研究部門 教授)	6時間	平成22年8月9日	教諭	中学校・高等学校教諭(理科・農業)	6,000円	30人	平成22年5月7日～平成22年5月24日	平22-10005-62374号
帯広畜産大学	十勝における環境教育：BDF(バイオディーゼル燃料)	BDF(バイオディーゼル燃料)は二酸化炭素削減(地球温暖化対策)、循環型社会の構築等に向けた取り組みとして脚光を浴びており、十勝においても研究が進んでいる。この講習は、BDFに関する講義とBDF生産工場の見学を通して、地球にやさしく、石化燃料に依存しない新しいエネルギーについて解説し、十勝での環境教育を進める上で必要な、地域の農畜産業の進展と環境問題対策を両立させるための技術について、最新の知識を習得することを目的とする。	岸本 正(地域環境学部門 准教授)	6時間	平成22年8月10日	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	6,000円	40人	平成22年5月7日～平成22年5月24日	平22-10005-62375号
帯広畜産大学	十勝における環境教育：バイオガスプラント	有機性廃棄物をバイオガスエネルギーに転換するバイオガスプラントは、二酸化炭素削減(地球温暖化対策)、循環型社会の構築などの取り組みのなかで注目されており、特に農畜産業の盛んな北海道においては必要な技術である。この講習は、地球にやさしく、石化燃料に依存しない新しいエネルギーについて解説し、十勝の環境教育を行う上で必要な、地域の農畜産業の進展と環境問題対策を両立させるための技術について、最新の知識を習得することを目的とする。	梅津 一孝(畜産衛生学研究部門 教授)	6時間	平成22年8月11日	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	6,000円	40人	平成22年5月7日～平成22年5月24日	平22-10005-62376号